



おまち

Vol.
129

2022. 3. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



新技術と低利用施設とのコラボ (県共催 R3.11.17 スカイセッション ドローンからの空撮)



みなかみ町のまちづくり

- みなかみ町のまちづくりに関する取組について
～行政に足りない「ノウハウ」は共創でサポート～

【トピックス】 日常的なにぎわいを生みだすための道路空間の活用(ミチカツ) 社会実験

【トピックス】 高山村における『むらの中心地づくり』の推進

～一人一人が次世代を思い 100年先も住みたい持続可能な村に～

【投稿】 未来共創ワークショップに参加しました！

- マーチィ'sROOM
- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
 - マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
 - マーチィの掲示板 令和3年度群馬県まちづくり功労者表彰

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるイベントの紹介

- まち'sクリの独り言





みなかみ町のまちづくりに関する取組について ～行政に足りない「ノウハウ」は共創でサポート～

みなかみ町 総合戦略課

■ 水上温泉街の魅力を再構築

1. 産官学金が連携 温泉街を中心としたまちづくりが始動

みなかみ町は、利根川源流の町で「関東の水がめ」と呼ばれ、2017年にはユネスコが認定する「ユネスコエコパーク」にも登録されるなど、豊かな自然環境資源を有しています。また「みなかみ18湯」をはじめとする温泉資源や多様なアウトドアアクティビティを楽しめる観光地としての発展を遂げてきました。

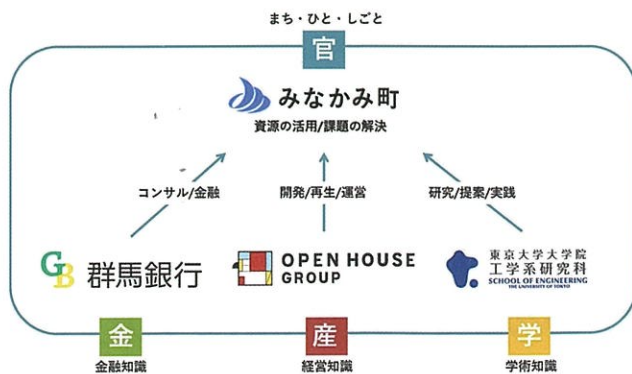
一方で、少子高齢化、公共施設・温泉施設の老朽化、スキー場経営悪化といった全国の中山間地域にも共通する課題を抱え、特にJR水上駅周辺の温泉街では商店街の衰退や廃旅館の増加が著しく、町の生活・観光を支えるエリアとしての再生が急務となっています。

そこで、みなかみ町(町長：鬼頭春二)、株式会社群馬銀行(頭取：深井彰彦)、株式会社オープンハウスグループ(代表取締役：荒井正昭、2022年1月1日純粋持株会社化により株式会社オープンハウスより商号変更)、国立大学法人東京大学大学院工学系研究科(研究科長：染谷隆夫)の4者は、中山間地域における地域社会の発展と地域経済の活性化、及び町民サービスの向上に資することを目的として、2021年9月22日に産官学金包括連携協定を締結しました。

以後、以下の7つの観点で継続的に連携したまちづくりの取り組みを進めています。



オンラインで行われた記者会見
(2021年9月22日撮影)



4者協定の相関図

- (1)魅力ある観光地づくり及び誘致に関すること
- (2)持続可能な街づくりの推進に関すること
- (3)定住・移住に関すること
- (4)観光振興や産業振興など地域経済の発展に関すること
- (5)環境保全に関すること
- (6)その他、住民サービスの向上に関すること
- (7)公共施設の有効利用に資する情報交換に関すること

2. 魅力ある観光地を探る

今回の包括連携協定で温泉街エリアの再生ビジョンについて研究・提案する国立大学法人東京大学大学院都市デザイン研究室は、水上温泉街を中心としたフィールドワークとワークショップを開催しています。歴史的背景、現状の課題把握を行い、国際的な地区デザイン手法「エコディストリクト」の考え方を取り入れ、「まちとしてのエコ」「環境資源としてのエコ」「地域社会としてのエコ」を目標に、4者協定のメンバー及び湯原区や湯原温泉街振興会、水上温泉リノベーションまちづくり実行委員会等の住民の方々と以下の2つのテーマについて議論、検討を深めています。



- ① ユネスコエコパークの移行地域として、水上温泉街で環境に配慮した産業活動を行うことはもちろん、緩衝地域や核心地域を支援し、町全体の豊かな自然環境の保全や持続可能な取組を発展
- ② 観光で訪れる人や生活を営む住民が日常的にユネスコエコパークの豊かな自然に触れ、木材や資源のリサイクルに寄与するとともに、環境負荷を低減することで、自然環境の保全と調和した持続可能な温泉街を創出



東京大学大学院による現地調査

3. 5つの「ヒロバ」から“まち”を再生

高度経済成長期以降の団体旅行を中心としたマスツーリズムの時代が今のまちなみを形成してきた水上温泉街。歴史的な背景、生活と観光スペースをひもとくと、(1)水上駅・SL広場周辺、(2)忠霊塔公園・旧蒼海ホテル周辺、(3)日一葉亭・温泉公園周辺、(4)観光会館・水上公民館周辺、(5)道の駅 水紀行館周辺の『5つの「ヒロバ」』を軸とした再生の在り方が見えてきました。今回は水上温泉街をクローズアップした「モデル事業」ですが、ユネスコエコパークでありSDGs未来都市でもある本町の豊かな自然を体感できる魅力ある持続可能なまちづくりを目指し、取り組みを展開していきます。



湯原地区でのワークショップ

■ 遊休施設を地域の活性化拠点に再生



再利用された旧百姓茶屋(農産物直売施設)

地域であるみなかみユネスコエコパークで空をテーマとした新たな取組がスタートしました。

人口減少による過疎化が進む中山間地域において、受講生による交流人口の増加、宿泊飲食による地域経済の活性化、更には新たなビジネスの起業など官民連携のモデルとして大いに期待されています。

令和3年2月に楽天グループ株式会社と群馬県が締結した包括連携協定に基づく官民連携事業の一環として、みなかみ町入須川地区の遊休施設「旧百姓茶屋」、低利用の入須川社会体育館、廃校となった入須川小学校の校庭を活用し『楽天ドローンアカデミーみなかみ校』が同年12月18日に開校しました。

先端技術を活用した地域課題の解決と新たな価値創造、遊休公共施設の有効活用による地域経済の活性化など、人と自然の共生する社会の世界のモデル





日常的なにぎわいを生みだすための 道路空間の活用(ミチカツ)社会実験

館林市 都市建設部 都市計画課 都市再生推進係

はじめに

館林市では、人口減少・少子高齢化が進み財政状況がひっ迫するなか、まちを存続させていくためには、まちなか再生に取り組む必要があることから、ウォークブル都市をキーワードに、目指すべき姿を示した「館林市まちなかにぎわい再生方針」を令和3年3月に策定し、「居心地の良い公共空間の創出」を目指す姿のひとつに掲げております。

まちなかで大きな面積を占める公共空間を最大限に活用し、経済活動の場として市民が気軽に使える開かれた居心地の良い場所の創出に向け、東武鉄道館林駅東口駅前広場の歩道部において、キッチンカー出店による道路空間の活用(ミチカツ)社会実験を実施しています。

実施概要

- 1. 実施期間** 令和3年11月24日(水)～令和4年3月21日(月) 10:00～18:00の間
※天候等により出店時間を変更する場合や出店できない場合があります。
- 2. 場 所** 館林駅(東武鉄道)東口駅前広場
- 3. 内 容** 歩道部でのキッチンカー出店
- 4. 主 催** 館林市・館林商工会議所

出店情報や出店者募集等については、右のQRコードをお読み取りいただくとご確認できます。



実施場所：館林駅 東口駅前広場

実施内容：歩道空間でのキッチンカー出店

実施期間：R3.11.24(WED)～R4.3.21(MON)

10:00～18:00



社会実験ポスター



キッチンカー出店情報
ミチカツ
QRコード

実施状況

令和3年11月23日に現在事業中の都市計画道路中央通り線沿道でのミチカツフェスタなど市内13のイベントを同時開催した「つなぐ・まちなかフェス」において、キックオフイベントを行いました。

令和3年12月末時点で、6店舗のキッチンカー事業者の方に登録をしていただいております。計18日出店をしていただきました。来年度も引き続き社会実験を実施する方向で、出店者からの意見のフィードバックなど、関係各所と調整を進めているところです。



ミチカツフェスタ



キックオフイベント

終わりに

人口減少の進行や少子高齢化の進展など様々な課題が山積しています。この状況において、限られた資源のもと、効率的にまちなかの再生を図るためには、行政・市民・事業者等が目指すべきまちの将来像を共有してまちづくりに取り組むことが重要であり、多様な使い方や考え方を取り入れて暫定利用や一時的な実験の取り組みを重ねていくことが必要になります。

日常的なにぎわいは、イベントなどによるにぎわいとは異なり、地域の習慣となる生活や文化を創出することであり、時間が掛かるものだと思います。今回の社会実験のような、まちに変化を起こすためのチャレンジを繰り返していくなかで、ひとつでも多くの館林としての日常的なにぎわいを生みだすことができるように、引き続き官民連携による取り組みを進めていきたいと思っております。





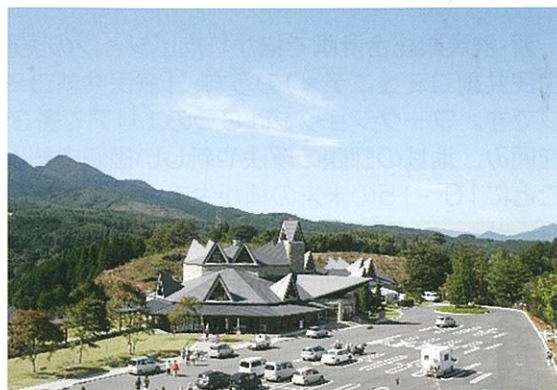
高山村における『むらの中心地づくり』の推進 ～一人一人が次世代を想い 100年先も住みたい持続可能な村に～

高山村 地域振興課

■ 背景

平成26年3月に県内28番目となる道の駅「中山盆地」が、既存日帰り温泉施設「高山温泉ふれあいプラザ」周辺を整備しオープンしました。

村では交通の便に恵まれた立地、農山村としての原風景を最大限に生かすべく地域活性化策の中核施設として「道の駅」を計画し、新たな拠点施設に位置づけ、都市との交流、観光情報発信や地域住民の避難場所としての活用を推進することとし、道の駅周辺を「むらの中心地」と称し、「むらの中心地づくり基本計画」を策定しました。そして、基本計画に基づき平成28年度より、都市再生整備計画事業を活用し、施設整備に着手しました。



道の駅「中山盆地」

■ 整備概要

- ① 高山ふれあいパーク整備(地域生活基盤施設)平成28～29年度
- ② (仮称)高山観光交流館整備(高次都市施設)平成30年度～令和3年度
現在、令和4年度のオープンを目指し、整備中です。



高山ふれあいパーク

■ 高山ふれあいパーク整備

整備検討委員会において視察・検討を重ね、設置遊具・設備等を選定し、平成28年度は開発造成事業、平成29年度においては大型複合遊具・児童遊具・健康遊具等整備し、子どものみならず、大人も楽しめる憩いの場としての公園整備を実施しました。

■ (仮称)高山観光交流館オープンに向けての想い

ハード事業の実施に併せ、運営面を検討するため高山村の未来を担う世代で構成された「リーディングプロジェクト」を結成し、「むらの中心地」のコンセプトとして「一人一人が次世代を想い 100年先も住みたい持続可能な村に」を設定、「(仮称)高山観光交流館」のコンセプトを「たからのやま たかやま」に設定しました。



(仮称)高山観光交流館

リーディングプロジェクトでは高山村が抱えている課題を洗い出し、村内外に高山村の良さをアピールすると共に、中心地のコンセプトを体現化するための公共施設として、高山村の主要産業である「農業」と里山での「暮らし」「遊び」を基軸として、

- ① 日々の暮らしの質的な向上
- ② 地域の未来を描く新たな産業の創出
- ③ 村外の人達との良好な関係づくり

を目指します。

令和4年度の(仮称)高山観光交流館のオープン・高山村リブランディングの推進にご期待下さい。皆様のご来村心よりお待ちしております。



未来共創ワークショップに参加しました！

群馬県 県土整備部 都市計画課

■ 未来共創ワークショップとは

新・群馬県総合計画で描かれたビジョンの実現に向けた3つのキーワード(快疎(かいそ)・始動人(しどうじん)・官民共創コミュニティ)のうち、「官民共創コミュニティ」を群馬県内で実現するために開催されたワークショップです。ワークショップは3つのエリアで各3回行われ、ワークショップを通じ、多様な参加者が共にテーブルを囲み、地域の課題の解決や新しい価値の創出に取り組むことで、「共創の土壌が育まれていること」と「エリアごとに10～15の未来の種が生まれること」を目指して実施されました。

	甘楽富岡エリア	利根沼田エリア	桐生みどりエリア
対象地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町	桐生市、みどり市
テーマ	①移住の促進 ②魅力ある観光地づくり ③持続可能で環境に配慮した農林業 ④移住定住の促進(良質な住環境と空き家の利活用) ⑤地域資源としての空き家の利活用 ⑥多世代が交流できる居場所づくり	①免許返納が進んで自家用車が利用できない人が増える地域での移動手段の確保 ②地域の資源を活かした住み続けたい村づくり ③移住者や関係人口を受入れる素地づくり ④この地域の森林資源(=水資源)がもつ価値の再認識	①SDGsの理念を市民一人ひとりが自分ごとにするためにできること ②コロナ禍での子どもの居場所づくりのあり方 ③高齢者や家庭環境に恵まれない子どものICTリテラシー向上 ④移住定住対策のコロナ禍での効果的なPR ⑤市民活動・地域活動の新たな担い手確保 ⑥市民が主体となり地域内での連携が生まれる健康増進事業のあり方 ⑦森林の新たな価値の創出

未来共創ワークショップ開催エリア・テーマ一覧



■ ワークショップ概要

【第1回】

○導入トーク「SDGsと地方創生」

持続可能な地域に必要な「SDGs」と、SDGsと地方創生との繋がりについて学びました。

○SDGsde 地方創生カードゲームセッション

地域で活躍する多様なステークホルダーに扮し、様々なプロジェクトの実行を通じて、これからの地域づくりに必要な考え方について学ぶために実施しました。

【第2回】

○課題の構造図の作成

地域で起きている課題を構造的に理解するための「課題の構造図」をテーマごとに作成しました。

○問いを立てる

「課題の構造図」の中で、どこにポイントを絞って取り組むかを決め、課題を明確にするために問いを立てるワークを行いました。

【第3回】

○問いに対する取組内容のアイデア発想

第2回で立てた問いに対して、解決するための取組内容を検討するためのアイデアを地域資源や他市町村の事例を基に様々なアイデアを発想しました。

○未来の種(プロジェクト)の創出

発想されたアイデアを基に、未来の種となるアイデアを選定し、プロジェクトを創出しました。



会場の様子
(上から甘楽富岡・利根沼田・桐生みどり)

■ ワークショップに参加して

今回、未来共創ワークショップに参加して、地域に根付いている様々な課題に対して、産官学金などの立場の違うプレイヤーがどう対話し、協働で取り組むことができるのかということを考える良い機会となりました。

このワークショップで生み出された未来の種が今後の各市町村の取り組みでどのように芽吹いていくのか、自分もプレイヤーの1人としてこれからも一緒に取り組んでいきたいと思いました。





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「カツオが磯野家を片づける日：後悔しない『親の家』片づけ入門」
著：渡辺 亜矢



後悔しない「親の家」片づけ入門
カツオが磯野家を片づける日
「あそイチ」等マスコミ注目の人気講師があの磯野家で再現解決シミュレーション

今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



あなたはもう「実家の片付け」に直面しましたか?本書は「実家の片付け」を、漫画「サザエさん」の家族を登場人物に、父・波平が亡くなり広い家に物を捨てられない母フネがただ一人となった実家を、カツオが実際に片づけに取り組む場面をシミュレーションしていきます。国民的キャラクターが亡くなったところから始まるショッキングな導入ですが、身近なキャラクターを登場させることで、大変わかりやすく実家の片付けについて描かれています。いざ実家に住まう親が亡くなった時、何から手をつけて良いかわからず、そのまま空き家になってしまうケースも少なくないと思います。思い出の品をどうするか?空き家を防ぐには?など、様々な問題を遺族の心にも寄り添いながら解決していく方法が紹介されています。誰もがいつかは直面する問題です。是非読んでみてください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

邑楽町 都市建設課 吉田 一成



吉田 一成さん



講座の様子

令和元年度の開催が惜しくも最後となった「魅力あるまちづくりネットワーク講座」に参加させていただき、群馬県産「ザ・ラスト・ファシリテーター」の一人としての矜持を胸に毎日の業務に邁進しております、邑楽町役場都市建設課の吉田(39)と申します。

ファシリテーターとは、会議や話し合いの場において参加者の意見を引き出したり、合意形成のための議論を促進する役目を担う人のことを指します。私が担当している業

務の性格上、講座で習得したノウハウを発揮する機会があまり多くないことが残念でありませんが、いつ何時その役目を仰せつかって良いよう、心の準備は常に済ませているつもりです。

コロナ禍に突入し2年が経過しました。講座を通して得ることのできた人脈は、今となっては本当に得がたい財産であると感じます。大挙して遅くまで呑み歩いた桐生の夜、甘楽町随一のナイトスポット・通称「イエローハウス」での宴など、講座以外の思い出も尽きず今もなお綺羅星の如く心の中で輝いています。

最後になりますが、講師の山下先生及び研究室の皆様、県関係者の皆様、同期受講生の皆様に改めて御礼を申し上げ「マーチィ's ROOM」に寄せる言葉と致します。敬具。 ※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板

『令和3年度群馬県まちづくり功労者表彰』受賞者について ～受賞者 森田 均 殿(前橋市開発審査会会長)～

群馬県では昭和60年から、魅力あるまちづくりの推進に顕著な功績のあった民間の団体、個人及び市町村に対して、知事から感謝状をお贈りしています。

今年度の受賞者につきましては、平成13年4月1日の特例市移行に基づき設置された、前橋市開発審査会委員として設立時から参加し、平成13年12月からは審査会会長として、前橋市における適正な土地利用等の推進に関して、今日に至るまでの長きに渡り、寄与・尽力された森田 均(もりた ひとし)氏が受賞されました。

森田氏は、都市計画法に規定する、開発審査会を組織する上で必要な法律分野を担当し、弁護士としての知識と経験を活かし、市街化調整区域における無秩序な市街化の防止と健全な都市の発展に努められ、当審査会を運営する責任者として、公正かつ慎重な審議をおこなってこられました。

このような尽力・功績は、前橋市の将来都市像を見据えた、魅力あるまちづくりの形成に寄与するものであることから、感謝状を贈呈いたしました。



左・森田 均氏(前橋市開発審査会会長)



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期の場合があります。予めご了承ください。

あぶた福寿草の里

1.5haの園内に福寿草と紅梅が咲き誇る「あぶた福寿草の里」。
3月5日(土)には、福寿草まつりが開催されます。
■2月13日(日)～3月20日(日)9:00～16:00
※閉園日は、開花状況により変更となる場合があります。
■あぶた福寿草の里
群馬県甘楽郡下仁田町
大字中小坂2590
■無料駐車場あり
【お問い合わせ先】
下仁田町観光協会
Tel. 0274-67-7500



紙ヒコーキ教室

割りばしと輪ゴムを使って飛ばす紙ヒコーキを作ります。
※雨天中止
■3月12日(土)
13:00～15:00
(受付12:50～)
■ぐんまこどもの国
野外ステージ
【お問い合わせ先】
金山総合公園管理事務所
Tel. 0276-22-1448




第27回カタクリさくらまつり

関東有数の規模を誇るカタクリ。それと入れ替わるように満開となる桜をお楽しみいただけます。
■3月26日(土)予定～
4月3日(日)予定
■みどり市笠懸町阿左美
岩宿の里
【お問い合わせ先】
みどり市観光観光係
Tel. 0277-76-1270



マジック&腹話術ショー

ノンキ佐藤と相棒ケンちゃんによるマジックと腹話術のショー。
※雨天中止
■3月27日(日)13:30～
■ぐんまこどもの国
野外ステージ
【お問い合わせ先】
金山総合公園管理事務所
Tel. 0276-22-1448



「桐生市歴史まちづくり動画」絶賛公開中

桐生市では、歴史まちづくりの推進啓発等を図るため、歴史まちづくり動画を公開しています。是非、ご視聴ください。
配信URL https://www.youtube.com/playlist?list=PLHwz9rqrGNMGut_oKZEFQU1aka3KO7MCsK
【お問い合わせ先】
桐生市都市整備部
都市計画課
歴まち・街路係
Tel. 0277-46-1111
(内線:745)



おしらせ

邑楽町シンボルタワーの トライアル・サウンディングの公募について


トライアル・サウンディングとは、公共施設・空間の暫定利用を希望する民間の事業者を募集して、一定期間の使用後に事業者から施設等の活用可能性や課題のフィードバックを受けて、その後の公募条件に反映させることを目的とした市場調査です。
邑楽町では、シンボルタワーの更なる活性化に向けて、暫定利用を希望する民間事業者を募集します。

【公募対象】 邑楽町シンボルタワー未来MiRAI

【参加要件】 民間企業、NPO法人、個人事業主または任意団体等

【受付・暫定利用期間】
・受付期間：令和4年1月4日火曜日から
令和6年1月31日水曜日まで
・暫定利用期間：令和4年1月12日水曜日から
令和6年2月29日木曜日まで
原則1日から1か月程度の利用(随時応募)

【暫定利用料】
暫定利用中の施設の使用料は無償とします。
その他、トライアル・サウンディングの参加に要する費用は、暫定利用希望者の負担とします。
暫定利用終了後に現状回復を原則とします。
※詳しくは邑楽町 HPをご覧ください。邑楽町商工振興課へお問い合わせください。
(TEL: 0276-47-5026)



帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

春のオープンキャンパス 3月26日(土) 10:00～16:00

- ・大学・入試説明会
- ・学科説明会
- ・体験授業
- ・個別相談(教員/学生)
- ・学生によるキャンパスツアー
- 完全事前予約制

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更の可能性があります。詳細はホームページをご覧ください。

八王子キャンパス広報グループ
お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: <https://www.teikyo-u.ac.jp/>

まち'sクリの独り言

今年度もあっという間に1年が経とうとしているクリ。寄稿にご協力いただいた皆様方に感謝ですクリ。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、とても充実した「おっ!まっちい〜」を発刊することができ感謝でクリ。本誌を見ていただいた人が、まちづくりやまち歩きなどに参加してもらえるような情報をこれからも提供していきたいクリ。来年度も引き続き、「おっ!まっちい〜」をどうぞよろしくお楽しみしますクリ〜。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
群馬県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL <http://www.pref.gunma.jp/07/h5800127.html>